

補足説明資料

(但馬県民局)

	ページ
(拡充) 但馬の多彩な観光資源の魅力発信	1
(新規) フィールドパビリオンを活用した地域活性化の推進	2
山陰海岸ジオパークエリア活性化の推進	3
「鉱石の道」を活用した地域活性化の推進	4
(拡充) つながるたからじま農のブランド化推進事業	5
(拡充) 新規就農者の確保と定着の推進	8
(拡充) スマート農業技術の確立・定着・拡大	10
(拡充) 但馬材素材生産強化・向上	12
(拡充) 但馬水産業の持続的発展に向けた取組	14
高規格道路ネットワークの整備（土木部）	16
但馬産業活性化の促進	17
(拡充) 「但馬で働く」大作戦の推進	18
(拡充) 地域防災力の強化	19
但馬の住まいの耐震化促進（まちづくり部）	20
(拡充) 但馬地域鉄道利用の促進	21
「ロジックモデルを用いた保健医療計画」の推進	22
社会的処方及び重層的支援体制の整備による地域共生社会の推進に向けた取組	23
高齢者のニーズに応じた社会参加の場づくり	24
コウノトリも棲める郷づくりの推進	25
ラムサール条約湿地を活用した環境学習事業	26
クリーン但馬10万人大作戦の推進	27
但馬の自然環境の保全と復活・再生に向けた支援	28
(拡充) 野生鳥獣対策の推進	29
但馬U・Iターン400人大作戦の展開	31
(新規) 但馬の若手をつなぐプラットフォーム「TJMつながりLab」の設置	32
地域活動応援事業の推進	33
地域の見守り力アップ作戦	34
県民局広報・広聴の推進	35
専門職大学等と連携した芸術文化振興の推進	36
但馬の歴史と物語を生かした新しいまちづくり	37
豊岡復興建築群の魅力発信	38
但馬地域ビジョン2050の推進	39

記者発表 (発表・資料配布)				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	県民躍動室 地域振興課 (産業観光担当)	ダイヤルイン 0796-26-3685	室長 植田 勝明 (原 悟)	

但馬の多彩な観光資源の魅力発信

1 事業の趣旨、目的

大阪・関西万博に向け造成・磨き上げを行ってきた観光コンテンツを今後の観光誘客に活かし、地域事業者それぞれが行う情報発信や魅力向上にかかる取組への強化・支援により観光消費額の増加や滞在時間の向上を目指す。

2 事業内容

(1) 観光資源の魅力発信

ア 観光コンテンツ磨き上げ・誘客促進支援

観光コンテンツの造成・磨き上げ及び誘客・広報の推進、ならびにインバウンド向けファムトリップ等の支援

○補助対象：観光協会等各種団体 など

○補 助 率：1／2 (上限500千円)

イ 海外バイヤーに向けた情報発信

インバウンド向け商談会に管内市町と共同して出展

ウ 但馬ツーリズム情報の発信

但馬観光協議会等と連携し、但馬のツーリズム情報の発信やインフルエンサー等を講師としたSNS情報発信力強化セミナーを実施



【インバウンド商談会】

(2) 二次交通の発展・充実

ア 観光バス「たじまわる」の運行

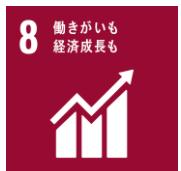
但馬観光協議会等と連携し、公共交通を利用した但馬の周遊観光の定着化を図るため、JR各駅等と観光地を結ぶ観光バス「たじまわる」を運行

○ルート数 季節ごとに各地を巡る計6ルート



【観光バスたじまわる】

3 予算額 20,512千円



記者発表 (発表・資料配布)				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	県民躍動室 地域振興課	ダイヤルイン 0796-34-6126	室長 植田 勝明 (多自然地域づくり専門官 衣川 勇)	/

フィールドパビリオンを活用した地域活性化の推進

1 事業の趣旨、目的

万博に向けて造成、磨き上げてきたひょうごフィールドパビリオンのコンテンツを活用し、地域への誘客促進や魅力発信、地域経済への波及拡大、地域課題の解決など地域の活性化を図る。

また、JR播但線や播但連絡道路などで結ばれる但馬と中播磨エリアで一体的に事業を行い、それぞれの地域の観光客を取り込んだ周遊観光の拡大を図る。

2 事業内容

- (1) 播但貫く、フィールドパビリオン「周遊型・謎解きスタンプラリー」（仮称）の開催

ア 実施時期 令和8年9月～令和9年2月（6か月間）を予定

イ 実施個所 但馬及び中播磨地域

ウ 実施内容

- ・スマートフォンを利用したデジタルスタンプラリーを実施
- ・複数の「謎解きスポット」「ミッションスポット」を設定し、クリアすればスタンプを獲得、フィールドパビリオンを訪れてスタンプを獲得
- ・スタンプ獲得数に応じて抽選で地域の特産品を贈呈

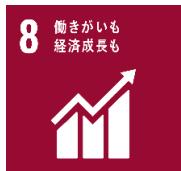
- (2) フィールドパビリオン情報発信イベントの実施

但馬地域で行われる観光イベントに出展し、フィールドパビリオンによる体験提供・情報発信を行う。

- (3) フィールドパビリオンつながりミーティングの開催

異業種のフィールドパビリオンが互いに連携し、高め合い、自立自走していく様にするための場づくりを行い、持続的発展に向けた交流を促進する。

3 予算額 3,315千円



プレミアプログラム
「黒毛和牛のルーツ・但馬牛」

記者発表 (発表・資料配布)				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	県民躍動室 ジオパーク課	ダイヤルイン 0796-26-3782	ジオパーク参事 大江伸一郎 (岡 秀樹)	

山陰海岸ジオパークエリア活性化の推進

1 事業の趣旨、目的

但馬地域を含む3府県にまたがる山陰海岸国立公園を中心としたエリアを活性化させ、持続可能な地域を目指して、2010年に世界ジオパークネットワークへの加盟入りを果たした。

兵庫県、京都府、鳥取県、関係市町、関係団体で構成する山陰海岸ジオパーク推進協議会を中心に産業振興、保護保全、教育など各分野にわたるジオパーク活動を継続的に実施し、ジオパークエリアの活性化と持続可能な地域社会の形成を推進する。

2 事業内容

(1) 山陰海岸ジオパーク推進協議会への支援

世界レベルのジオパーク活動を継続的に実施するため、構成団体と連携し、積極的な取り組みを行う。

ア 産業振興・ツーリズム

- ・ジオパークトレイル活用事業
- ・ジオツーリズム推進事業 等

イ 保護保全活動の推進

- ・保護保全調査活動事業
- ・保護保全活動支援事業 等

ウ 教育・調査研究

- ・学術研究支援事業
- ・児童・生徒研究作品コンテスト 等

エ 情報収集・発信

- ・ホームページ情報発信強化
- ・ジオパークパンフレット作成・増刷 等

(2) 山陰海岸ジオパークの受入環境充実の推進

大地の成り立ちなどを感じられるジオサイトを訪れる観光客等の受入環境を充実させるため看板等を設置し、山陰海岸ジオパークの魅力を国内外に発進する。

3 予算額 11,340千円



記者発表 (発表・資料配布)				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	県民躍動室 地域振興課	ダイヤルイン 0796-34-6126	室長 植田 勝明 (多自然地域づくり専門官 衣川 勇)	

「鉱石の道」を活用した地域活性化の推進

1 事業の趣旨、目的

かつて全国有数の鉱山として栄えた中瀬、明延、神子畠、生野の4鉱山の近代化遺産を点から線へつなぐ「鉱石の道」として活用し、各種団体・企業・行政等との連携により、但馬地域の活性化を図る。

2 事業内容

(1) ガイド人材の発掘

日本遺産ストーリーの周知に欠かせないガイドとなる人材を発掘するため、住民を対象とした講座や現役ガイド等による交流会を開催する。

ア ガイド活動の魅力を紹介する講座等の開催

イ 令和7年度に発掘したガイド候補者及び現役のガイド等による交流会の開催

(2) 鉱石の道の魅力強化

来訪者のエリア内周遊と観光消費額の増大を図るため、地域団体等が実施する日本遺産ストーリーの魅力を体感できるガイド案内の充実化や、体験コンテンツの造成、商品開発等の鉱石の道の魅力を向上させる取組に対して支援する。

(3) 地域団体への活動支援

鉱石の道推進協議会等の関係団体と連携し、小・中学校等が実施する史跡生野銀山等の近代化遺産を活用した郷土学習や関連イベントへの支援等により、地域活性化を推進する。

3 予算額 4,200千円



【明延鉱山(養父市)】



【神子畠選鉱場跡(朝来市)】



11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう

記者発表 (発表・資料配布)				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	豊岡農林水産振興事務所 農政振興課 朝来農林振興事務所 農政振興課	ダイヤルイン 0796-26-3694 ダイヤルイン 079-672-6879	所長 松岡 浩司 (平岡 幹朗) 所長 竹中 寛 (釜井 善経)	

つながるたからじま農のブランド化推進事業

1 事業の趣旨、目的

但馬地域では、平野から高原に至る農地、広大な森林、豊かな日本海において多様な農林水産業が営まれ、コウノトリ育むお米やたじまピーマン、岩津ねぎ、朝倉さんしょなどの特産物、最高品質の但馬ビーフ、松葉がなどが生産されており、農林水産業の持続的な発展をめざすとともに、さらなるブランド力の向上による儲かる農林水産業の実現を進める。

2 事業内容

【コウノトリ育む農法の拡大】

(1) 栽培・施肥体系の確立等技術的課題の解決

ア 省力追肥資材の効果実証【新規】

高温による未成熟米発生への対策、収量向上のための追肥を省力的に実践する技術を確立するための実証調査を行う。

イ 除草作業効果向上技術の開発

機械除草の効率を向上させるため、碁盤の目状に苗を植える「両正条植え」と縦横2方向による機械除草の組み合わせによる除草技術の実証調査を行う。

ウ 水管理システム利用による品質向上の実証調査【新規】

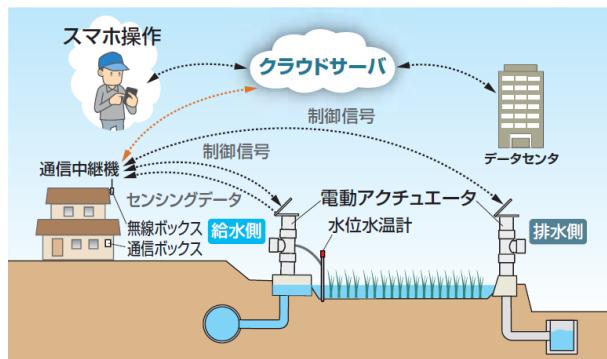
高温障害を回避するための精緻な水管理を省力的に実践するため、自動で給水・水位調整ができるシステムの試験導入及び実証調査を行う。

エ 多収量コンテスト開催を通じた技術の向上・普及【新規】

多収生産技術を競い、優れた生産者を表彰することで、生産技術のさらなる向上と産地全体への普及を進める。



両正条植え



水管理システム

(2) 育む農法の取組拡大への支援

ア 栽培面積拡大のための生産条件整備

栽培面積を拡大する生産者に対し、拡大面積に応じて掛かり増し経費を助成する。

イ 収量・品質向上のための生産条件整備【新規】

追肥や除草など、収量や品質の向上のために追加的に行う作業のスマート化とアウトソーシングを促進するため、これに取り組む生産者に対し、実施面積に応じて外注経費を助成する。



機械除草



ドローン施肥

【但馬牛の生産基盤強化】

(1) 繙承者の確保に向けた受け入れ態勢整備

新たな牛舎整備用地となる空き牛舎等の調査・検討を行い、規模拡大志向の後継者や継承希望者とのマッチングを行う。

(2) 農畜連携流通システムの確立

水稻栽培の副産物である稻わらを畜産農家が利用し、家畜排せつ物から作った堆肥を耕種農家が利用する「稻わら堆肥交換システム」の確立のため、経営モデルの実証、実践に係る経費への助成及び高品質堆肥の流通拡大を進める。

(3) 世界農業遺産「美方郡産但馬牛」のPR・認知度向上

ア ウェブサイトやSNSによる情報発信【新規】

(「美方郡産但馬牛」世界・日本農業遺産推進協議会事業)

伝統的な但馬牛の飼育システムとこれを育む自然豊かな景観など、美方地域の魅力をウェブサイトとSNSを活用して発信する。

イ 市民講座の開催【新規】

(「美方郡産但馬牛」世界・日本農業遺産推進協議会事業)

県立但馬牧場公園と連携し、地域の小学生や地域内外の一般市民に向けて、美方郡産但馬牛についての講座を開催する。

ウ ランドマークとしての「見える放牧場」の整備【新規】

但馬牛の産地である美方地域の新たなランドマークの創出を目的として、幹線道路沿道に放牧場を整備し、但馬牛の飼育風景を来訪者に公開・発信する。

エ 但馬牛PRイベントへの支援

地域や生産者による但馬牛のPRイベントの開催を支援する。

【但馬ブランド農産物の総合展開】

(1) 他産地との差別化に向けたPR

商標、地域団体商標等を活用し、他産地との差別化、知名度向上に向けたPR活動を実施するとともに、生産者団体等が行うPR活動を支援する。

- ア 販売店でのPR、地元での特設販売等（なしおとめ、美方大納言小豆）
- イ 展示会出展等への補助（朝倉さんしょ）

(2) 生産安定・多収化・コスト低減に向けた技術開発と普及

品目ごとの課題に対応した調査研究や実証試験による栽培技術確立と普及を進めること。（たじまピーマン、なしおとめ、美方大納言小豆、朝倉さんしょ、岩津ねぎ、有機野菜）

(3) 作付拡大への支援

- ア 新規栽培等への経費補助（たじまピーマン、なしおとめ）
- イ 技術習得への支援（なしおとめ「香住なしの学校」運営支援、朝倉さんしょ「新規栽培者向け研修会」開催）
- ウ 優良種子確保への経費補助（美方大納言小豆）
- エ 苗木増産への経費補助（朝倉さんしょ）

(4) 有機農産物の生産拡大への支援

野菜や果樹など多様な品目への堆肥利用の拡大や各市町の学校給食をはじめとしたニーズに対応できる生産体制の整備を支援する。



有機給食関係出前授業（養父市）

3 予算額 15,167千円



記者発表 (発表・資料配布)				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	豊岡農林水産振興事務所 農政振興課 朝来農林振興事務所 農政振興課	ダイヤルイン 0796-26-3694 ダイヤルイン 079-672-6879	所長 松岡 浩司 (平岡 幹朗) 所長 竹中 寛 (釜井 善経)	

新規就農者の確保と定着の推進

1 事業の趣旨、目的

農業人口の減少が急速に進行する中で、持続可能な農業・農村を実現するため、就農希望者の呼び込みから技術習得、就農、移住に至るまで、但馬県民局、但馬5市町、JAたじまが一丸となって「たじま新規就農者確保戦略会議」を設置し、オール但馬で総合的できめ細かなサポートを実施し、但馬各地におけるより多くの就農・定着を進める。

2 事業内容

(1) 会議構成機関との連絡調整、外部の関係機関との連携調整（但馬県民局）【新規】

住居確保や子供の教育、家族の就業支援などの各分野の支援機関とも連携し、支援施策の企画・コーディネートを行う。

(2) 「就農・定着応援プラン」の作成（各市町、各農業改良普及センター、JAたじま）

集落や産地等を単位として、就農希望者が就農の検討に必要となる地域農業情報（経営収支モデル、就農支援計画、空き家、農地等の情報）を示す「就農・定着応援プラン」の作成を進める。

(3) たじま就農サポーター（外部人材）による情報発信と就農相談、支援【新規】

ア 情報発信

情報発信力のある外部人材をインフルエンサーとして登用し、SNS等を通じて産地や地域の魅力や就農イベント等の情報を発信する。

イ 就農相談・支援

地域の農業経営士や行政・JAのOBを就農相談員として登用し、就農イベント等における就農希望者の発掘・応談、インターンシップや研修受講の斡旋、受入集落等との仲介など、就農するまで希望者に寄り添いサポートする。

(4) 就農体験会の実施

但馬地域外からの新規就農希望者に但馬の農業を知ってもらうため、たじま暮らしサポートBASEや市町の移住・定住・就農支援施策と連携し、希望者が参加しやすい少人数の就農体験会を継続的に実施する。

(5) 技術研修機会の提供（各市町による現行事業）

ベテランの農家等の指導の下、実践的な農業技術・知識・経営ノウハウを、一定期間をかけて学ぶことができる研修事業を実施する。

豊岡市: 豊岡農業スクール

養父市: 養父市新規就農希望者研修支援事業

朝来市: 朝来市新規就農希望者研修(住みたい田舎移住定住プロジェクト事業)

香美町: 香住なしの学校

新温泉町: 新温泉町但馬牛研修センター

(6) 地域就農支援センターによる独立就農支援(県、市町、JAたじまによる現行事業)

県、市町、JAたじまが連携しながら、様々な就農支援事業を活用し研修生や就農相談者の独立就農に向けて支援を行うとともに、就農初期の早期経営安定に向けた研修及び個々の現場での課題解決に向けた支援を行う。

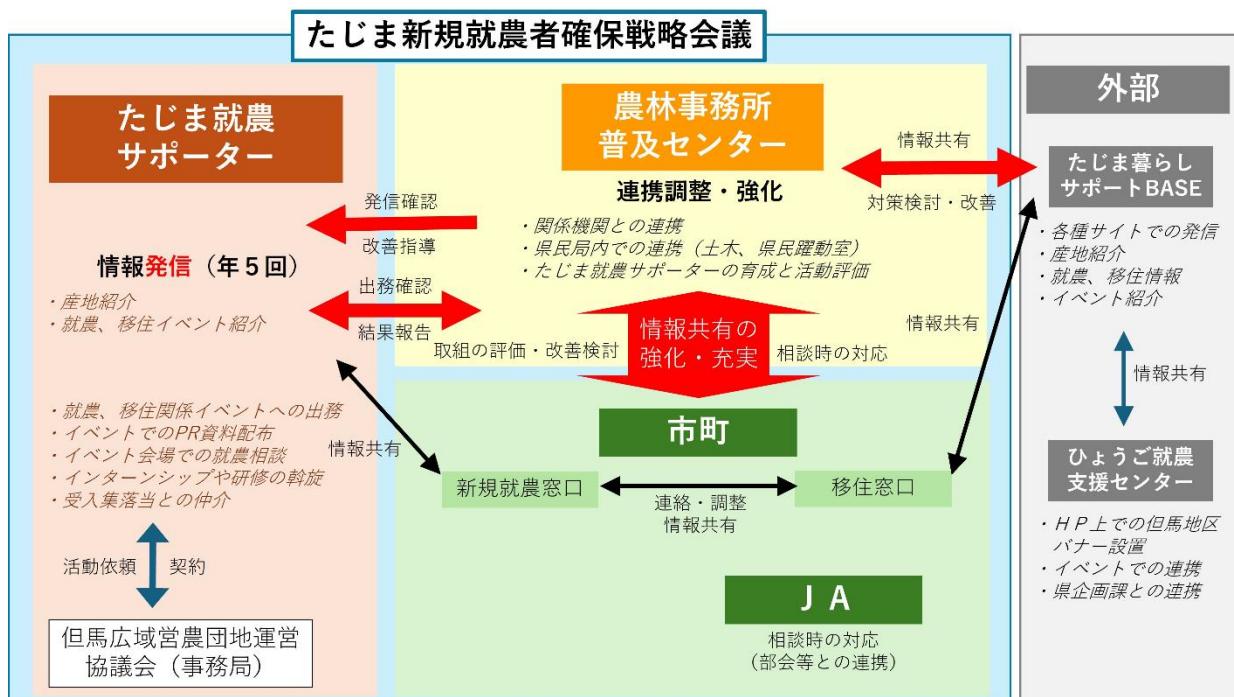


図 戦略会議のスキーム

(7) 地域を担う人材育成講座の開催

経営的に安定期になる就農5～10年目の若手農業者を対象に、地域農業を担う地域リーダーを育成するための講座を開催する。

3 予算額 1,256千円



記者発表 (発表・資料配布)				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	豊岡農林水産振興事務所 農政振興課 朝来農林振興事務所 農政振興課	ダイヤルイン 0796-26-3694 ダイヤルイン 079-672-6879	所長 松岡 浩司 (平岡 幹朗) 所長 竹中 寛 (釜井 善経)	

スマート農業技術の確立・定着・拡大

1 事業の趣旨、目的

農業の担い手の高齢化が急速に進み、労働力不足が深刻になる中で、中山間地域におけるほ場条件や経営規模に応じたスマート農業技術を確立し、農作業の効率化と省力化を推進することにより、持続可能な中山間地域農業の維持・発展を図る。

2 事業内容

(1) スマート農業技術の実証調査

民間企業等が開発したスマート技術の但馬地域での実用性や課題を明らかにするため、ほ場条件や経営規模、作物別に技術の実証・実演を行う。

実証調査のテーマ	内容	実証ほ
ア 正条田植機活用による機械除草の効率化	正条田植機による両正条植えと縦横2方向による機械除草の組み合わせによる効率的な除草技術を実証する。	豊岡市内
イ ICT水管理システムによる米の品質低下防止【新規】	ICT水管理システム（多機能自動給水栓）を用いた精緻で省力的な水管による高温障害（米の品質低下）の防止技術を実証する。	豊岡市内
ウ ドローン直播栽培の生産安定化	RTK基地局※を活用したドローン直播栽培の実証を行うとともに、効果的な除草体系を検証する。 ※GPS信号を補正して高精度測位を実現する地上の受信局。朝来市により朝来市内に2基、JAたじまにより豊岡市内に1基が設置されている。	朝来市内
エ スマート農機を活用した岩津ねぎ栽培の省力化【新規】	RTK基地局を活用した機械作業（直進アシストトラクタによる畠立て、ドローン防除等）を行い、従来機と比較して作業精度や効率を確認する。	朝来市内
オ 水稲栽培におけるドローン活用による省力化【新規】	営農条件の厳しい中山間地におけるドローンを活用した防除・追肥作業の作業性や水稻の品質、収量を確認する。	養父市内 香美町内
カ センシングデータの活用による施肥作業の最適化	ドローンにより水稻の追肥を行うマップ連動可変施肥技術に加え、地力の違いによる基肥可変施肥技術の有効性等を検証する。	香美町内 新温泉町内

キ 多機能自動給水栓の活用による水管理の省力化【新規】	用水路を開水路形式で整備した水田において、水管理を省力化する多機能自動給水栓の効果的な設置方法と費用対効果を検証する。	朝来市内
------------------------------------	---	------

(2) スマート農業技術の普及促進

但馬地域への導入・実装が見込まれるスマート農業技術の普及に向けた条件整備を行う。

ア 追肥・除草作業のスマート化とアウトソーシングの促進【新規】

コウノトリ育む農法において、追肥や除草など、収量や品質の向上のため追加的に行う作業のスマート化とアウトソーシングを促進するため、これに取り組む生産者に対し、実施面積に応じて外注経費を助成する。

イ ドローン直播栽培に対応したほ場の均平度確保【新規】

田面の不陸が大きく水稻の直播栽培に支障が生じているほ場に対して、必要な均平度を確保するための低コストな不陸修正工法を開発する。

(注) (1)ア、イ、(2)アについては、「コウノトリ育む農法拡大総合対策事業」として実施する。

3 予算額 5, 150 千円



ドローンによる水稻直播



水管理システム（設置例）



記者発表 (発表・資料配布)				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	豊岡農林水産振興事務所 森林課 朝来農林振興事務所 森林第2課	ダイヤルイン 0796-26-3698 ダイヤルイン 079-672-6881	所長 松岡 浩司 (上田 敦祐) 所長 竹中 寛 (妻形 淳史)	/

但馬材素材生産強化・向上

1 事業の趣旨、目的

但馬地域では、収穫期を迎えた人工林が増大する中、主伐・再造林の推進に取り組んでいる。その推進にあたり、人材の確保や植栽木のシカ食害対策、主伐材の販路確保などが課題となっており、これらの解決に取り組むことにより地域内の素材生産力の強化・向上を進め、地域産業である林業の成長産業化を図る。

2 事業内容

(1) 但馬型主伐・再造林モデルの実証

但馬地域の急峻な地形やシカ生息密度の高さ等に適応した主伐・再造林モデルを確立するための実証試験等を実施する。

ア 収益性の向上と鳥獣被害対策を考慮した新たな造林樹種の検討【新規】

スギ以上の強度を有し、また、成長速度が速くシカの食害を受けにくいカラマツは、香美町などの一部に成林があり、素材として高い評価を受けている。こうした樹種を試験植栽し、スギ、ヒノキに続く新たな造林樹種として検討する。

イ ドローンを活用した保育作業省力化の現地実証

ウ 奥地伐採に適応した作業システムの導入検討



植栽後4年経過したカラマツ



ドローンによる除草剤散布



奥地での架線集材

(2) 資源循環型林業を担う人材の確保

但馬地域の林業人材の確保を図るために、高校生を中心とした若者を対象に林業の魅力を発信する。

ア 県立高等学校等における出前講座の実施

イ 高性能林業機械等が活躍する最新の現場での体験・見学会の実施

(3) 但馬材の販路拡大及び利用促進

主伐材の増加に対応するため、但馬材の販路確保及び利用促進に向けた情報交換等に取り組む。

ア 但馬材の海外輸出促進に向けた商社等流通関係者との情報交換会の開催

イ 県産材合板の供給拡大に向けた検討

3 予算額 1, 700千円



記者発表 (発表・資料配布)				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	但馬水産事務所 水産課	ダイヤルイン 0796-36-1153	所長 水田 章 (峰 浩司)	

但馬水産業の持続的発展に向けた取組

1 事業の趣旨、目的

但馬の水産業は年間産出額が約100億円あり、地域の水産加工業や観光業などと深く結びつく地域経済を支える重要な産業である。

地域経済の活性化を図るため、沖合・沿岸の漁業種類や松葉ガニをはじめとする魚種に応じた対策を講じることで、但馬の水産物の認知度向上と需要取込・拡大を促進するとともに、周年にわたり魅力ある但馬産水産物を提供できる体制を整備する。併せて、年間産出額の約9割を占める沖合漁業に従事する船員の育成及び定着促進を支援することで、沖合漁業の経営基盤強化を図る。

2 事業内容

(1) 但馬の水産物の認知度向上と需要の取込・拡大

水産・加工・観光業者が連携して進める「但馬産松葉がに」の更なる魅力発信や観光需要取込の活動のほか、ズワイガニ以外の但馬産水産物や水産加工品の認知度向上と販路拡大に向けた活動を支援する。

(2) 但馬産水産物の提供体制の整備

ア イカ類の試験操業・資源調査

沿岸漁業の基幹であるいか釣り漁業の効率的な操業と資源情報の収集を目的に、イカ類の来遊状況と海洋環境情報を調査し、情報提供するための試験操業を実施する。

イ ムラサキウニの採取・駆除

藻場保全のため、海藻が減少している海域で重点的にウニの採取・駆除を実施する。

ウ 海洋環境の変化に対応する新たな漁法の導入【新規】

海水温上昇などの環境変化により、キジハタの増殖やクロマグロの来遊など、沿岸の魚種構成が変化しており、これに対応する新たな漁法の研修と導入実証を支援する。

(3) 沖合漁業船員の育成・定着の促進

ア 新規就労者獲得のためのPR活動

沖合漁業への興味・関心を喚起するため、漁業就業支援フェアへの出展や仕事内容等を説明した資料の作成など、漁業団体のPR活動を支援する。

イ 就労希望者向け現場研修実施

就労希望者を対象に行われる、実際の漁労作業等の体験する現場研修の実施を

支援する。

3 予算額 13,917千円



但馬産松葉ガニの啓発パンフレット



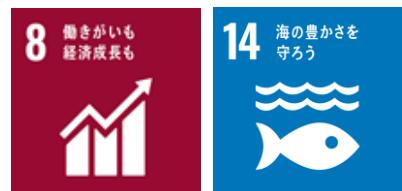
新規就労者獲得のためのPR活動



現場研修の状況



新たな漁法導入の対象魚の例 (キジハタとクロマグロ)



高規格道路ネットワークの整備

1 事業の趣旨、目的

「基幹道路八連携軸」を構成する北近畿豊岡自動車道(国直轄事業)と山陰近畿自動車道(県事業)の整備を推進する。

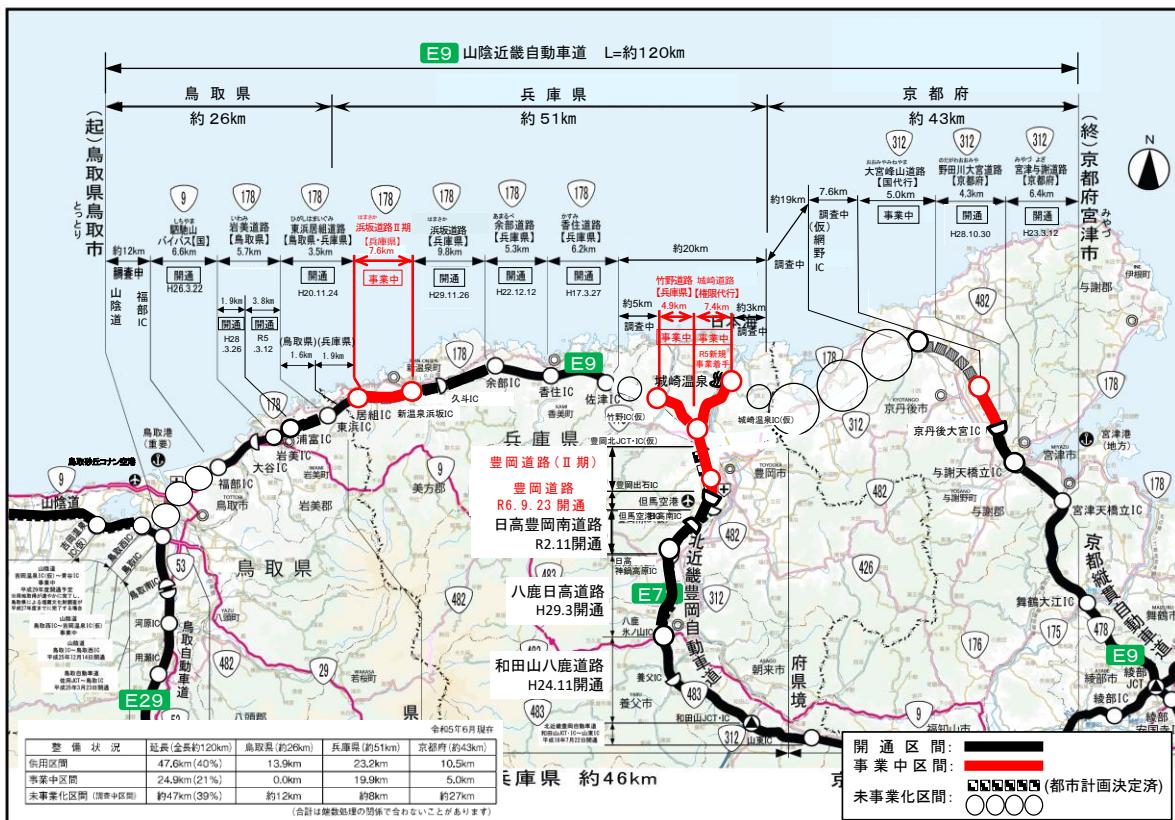
2 事業内容

(1) 北近畿豊岡自動車道 ※進捗率 93% (全 73km のうち 67.9km 供用済)

箇所名等		事業概要	令和8年度の取組内容
①春日和田山道路	供用中	延長 : 36.4km (遠坂トンネル 4.7km 含む)	平成 17 年 4 月 : 氷上 IC まで供用 平成 18 年 7 月 : 和田山 IC まで供用
②和田山八鹿道路	供用中	延長 : 13.7km	平成 24 年 11 月 : 供用
③八鹿日高道路	供用中	延長 : 9.7km	平成 29 年 3 月 : 供用
④日高豊岡南道路	供用中	延長 : 6.1km	令和 2 年 11 月 : 供用
⑤豊岡道路	供用中	総事業費 : 190 億円 (2 車線) 延長 : 2.0km	令和 6 年 9 月 23 日 : 供用
⑥豊岡道路(Ⅱ期)	事業中	総事業費 : 270 億円 (2 車線) 延長 : 5.1km	内容 : 調査設計、用地買収、工事

(2) 山陰近畿自動車道 ※県内の進捗率 45% (全 51 km のうち 23.2km 供用済)

箇所名等		事業概要	令和8年度の取組内容
⑦香住道路	供用中	延長 : 6.2km	平成 17 年 3 月 : 供用
⑧東浜居組道路	供用中	延長 : 3.5km (うち兵庫県域 約 1.9km)	平成 20 年 11 月 : 供用
⑨余部道路	供用中	延長 : 5.3km	平成 22 年 12 月 : 供用
⑩浜坂道路	供用中	延長 : 9.8km	平成 29 年 11 月 : 供用
⑪浜坂道路Ⅱ期	事業中	総事業費 : 750 億円 延長 : 7.6km	内容 : 工事
⑫竹野道路	事業中	総事業費 : 645 億円 延長 : 4.9km	内容 : 調査設計、用地買収、工事
⑬城崎道路	事業中	総事業費 : 1,150 億円 延長 : 7.4 km	内容 : 調査設計
⑭佐津 IC～竹野 IC	調査中	延長 : 約 5.0 km	内容 : 早期事業化に向けた調査
⑮城崎温泉 IC～府県境	調査中	延長 : 約 3.0 km	内容 : 早期事業化に向けた調査



記者発表 (発表・資料配布)				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	県民躍動室 地域振興課（産業観光担当）	ダイヤルイン 0796-26-3685	室長 植田 勝明 (原 悟)	

但馬産業活性化の促進

1 事業の趣旨、目的

管内事業者の経営サポート等を担う商工会議所・各商工会職員の連携強化・スキルアップに対する支援、顕彰事業を通じた企業のやる気向上などの取組により、地域産業を下支えする事業者に向けた支援を行う。

2 事業内容

- (1) 支援団体等の人材交流・連携強化事業
 - 地元企業への支援を強化するため、支援団体が合同で行う販路拡大等のための勉強会や先進地視察などの取組を支援
 - 補助対象：商工会議所・商工会
 - 補助率：1／2（上限200千円）



【販路拡大勉強会】

(2) 但馬産業大賞による企業顕彰事業

但馬地域の様々な分野で地域産業の活性化に貢献した企業等を顕彰・発信し、受賞企業はもとより地域企業の更なる発展を促進



【但馬産業大賞受賞者展示】

3 予算額 1,109千円



記者発表 (発表・資料配布)				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	県民躍動室 地域振興課(産業観光担当)	ダイヤルイン 0796-26-3685	室長 植田 勝明 (原 悟)	

「但馬で働く」大作戦の推進

1 事業の趣旨、目的

地元の高等学校や芸術文化観光専門職大学（以下「芸観大」という。）や商工会議所・商工会、ハローワーク等関係機関と連携し、若年層に対して地元企業情報や但馬で働くことへの魅力に触れる機会を提供することで、多様な人材の確保を支援する。

2 事業内容

(1) 児童・生徒に向けた情報発信事業

ア 但馬企業研究会の開催

主に芸観大生や高校生を対象に、芸観大キャリアサポートセンターと管内市町等と共に但馬管内の就職促進のため、但馬企業研究会を開催

イ 但馬地域就職情報サイト「たじまが好き。」の運営

(ア) 小学生向け就業体験情報の発信

子どもたちが地域への愛着を育み、地域内の魅力ある企業等への理解が深まるよう、但馬地域における児童向け就業体験などのイベント情報を発信

(イ) 高校生等向け就職情報の発信

学生が地元企業へ興味を抱く契機するために、但馬管内企業の若手従業員が「たじまを選んだ」理由などを発信

ウ 大学生等向け企業情報の発信

各高校の協力を得て、進学した全卒業生（大学3回生等）に対して各市町が作成している企業ガイドブックを一括送付し、就職活動前に地元企業情報に触れる機会を創出

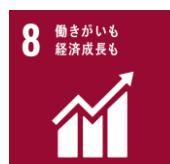
(2) 外国人材雇用支援研修の実施

外国人材にかかる労務管理の実務や多文化配慮などの現場運用、定着やトラブル防止にかかる研修を実施することで、外国人材の雇用を支援

3 予算額 2,796千円



【企業研究会の様子】



記者発表 (発表・資料配布)				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	総務企画室 総務防災課	ダイヤルイン 0796-26-3618	室長 遠池 良逸 (班長(企画防災担当) 日下部 尚裕)	

地域防災力の強化

1 事業目的

近年の気候変動に伴う災害の激甚化、近い将来の発生が懸念されている南海トラフ巨大地震に備え、広域かつ甚大な被害への対策が求められている。加えて、但馬地域では、雪害への対策も重要である。この状況を踏まえ、災害時に要となる地域防災の担い手の対応力の向上に資する講座を実施し、但馬地域防災力の強化を図る。

2 事業内容

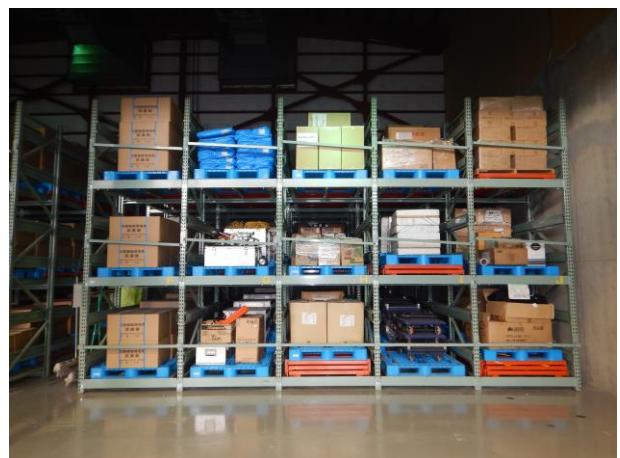
「防災拠点を開けてみよう！備蓄・資機材を使った実践講座」（仮称）

- ・内 容 但馬広域防災拠点に備えられている様々な資機材を知り、その使い方を学ぶことで実践的な対応力を身に付けた人材を育成する。
- ・実施時期 令和8年秋ごろ（1日）
- ・対 象 者 地域防災において中心的な役割を担っていく（担っていきたい）方
- ・募集定員 40名程度

3 予算額 437千円



但馬広域防災拠点（外観）



但馬広域防災拠点 荷捌き室



11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を

但馬の住まいの耐震化促進

1 事業の趣旨、目的

近年頻発する地震による被害を軽減するため、但馬5市町及び地域の事業者と連携して、但馬地域の住まいの耐震化を促進する。

2 事業内容

(1) 但馬5市町との連携による住宅耐震化の促進

但馬地域の住宅耐震化の促進に向け、県民局と但馬5市町の担当部局が連携・協調し、各市町の補助制度の活用や「但馬地域地震対策連絡会議」などを通じて効果的な普及促進方策を検討する。

【住宅耐震化補助制度】

メニュー	対象等	戸建て住宅の標準補助額	但馬地域の支援状況
① 耐震診断	簡易な耐震診断	全額負担	全市町で実施
② 計画策定費補助	有資格者による補強設計	費用の2/3（最大20万円）	全市町で実施
③ 改修工事費補助	耐震改修工事	費用の4/5（最大100万円）	全市町で実施
ア 市町独自加算	③に市町独自加算	30～50万円の加算	全市町で実施
イ 積雪加算	多雪区域は更に加算		（補助額は市町により異なる）
④ パッケージ型	②と③の一括申請	②+③	3市町で実施
⑤ 簡易型	耐震性7割を満たす工事	費用の4/5（最大50万円）	全市町で実施
⑥ シエルター型	住宅内の耐震シエルター	定額50万円（高齢者世帯は100万円）	全市町で実施
⑦ 屋根軽量化型	屋根の軽量化	定額50万円	全市町で実施
⑧ 建替	旧耐震基準の住宅の建替	費用の4/5（最大100万円）	4市町で実施



耐震ワークショップ

(2) 耐震ワークショップの実施

住宅耐震模型「ぶるる」を活用した耐震ワークショップを「まちづくり出前講座」として実施する。

また、管内の幼稚園や小学校のほか、各種イベントにおいて住まいの耐震化促進に関する意識啓発活動を積極的に支援するため、「ぶるる」を教育機関や地域団体等へ無償貸与する。

(3) 「耐震リフォーム達人塾 in 但馬」の開催

より多くの方が耐震改修工事を実施するためには、耐震改修費用の低価格化が重要であることから、全国で普及が進んでいる安価な耐震改修工法の講習会「耐震リフォーム達人塾in 但馬」を開催する。



耐震リフォーム達人塾

記者発表 (発表・資料配布)				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	県民躍動室 地域振興課	ダイヤルイン 0796-26-3674	室長 植田 勝明 (和多田 佳史)	△
	豊岡土木事務所 企画調整担当	ダイヤルイン 0796-26-3734	所長 田中 秀典 (阿江 誠)	

但馬地域鉄道利用の促進

1 事業の趣旨、目的

地域住民の日常生活や観光・交流など、重要な社会インフラである鉄路を維持するため、沿線住民等の鉄道利用を促進するとともに、地域資源の活用による鉄道利用来訪者増を図り、地域活力の向上を目指す。

2 事業内容

県、但馬各市町、関係団体・地域組織で構成する「但馬地域鉄道利便性向上対策協議会」のもと、利用促進・利便性向上事業に取り組むとともに、沿線の観光資源を活かした更なる利用促進策を講じる。

(1) アクションプログラムの着実な推進

ア 交流人口の拡大による利用促進

駅前レンタサイクル補助

兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会と連携して、京阪神からの鉄道利用者に対するレンタサイクル利用補助を実施し、2次アクセス充実を図る。

フォトコンテスト

沿線地域の魅力が伝わる写真を募集して、但馬内外からの鉄道利用による誘客を図り、乗車人員の増加につなげる。

イ 利用意識の醸成

但馬地域公共交通フォーラム

県・市町・交通事業者等が連携を強化し、相互に協力しあう体制の構築に向け、地域の人材・輸送資源を総動員して地域全体で持続可能な地域公共交通を支える意識を共有する。

(2) 余部鉄橋保存・活用の検討

ア 余部鉄橋保存・活用検討会（仮称）の設置

有識者、地元関係者、鉄道事業者、行政で構成する検討会において、余部鉄橋の修繕方法や工事中の観光利用など保存・活用方策を検討し、更なる利活用促進を図る。

(3) 鉄道の魅力発信による利用促進

ア 車両基地見学会の実施

地域住民（子ども）を対象に豊岡駅構内の車両基地見学会を実施し、鉄道に親しみを感じてもらい、鉄道利用につなげる。

イ 余部鉄橋修繕見学会の実施

余部鉄橋保存・活用検討会の意見を踏まえ、余部鉄橋の修繕状況を見学できるツアーを開催するなど、鉄道土木遺産の魅力発信・利用促進を図る。



【車両基地見学会の様子】



記者発表 (発表・資料配布)				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	豊岡健康福祉事務所 企画課	ダイヤルイン 0796-26-3655	所長 田所 昌也 (副所長兼企画課長 前田 寛)	

「ロジックモデルを用いた保健医療計画」の推進

1 事業の趣旨、目的

「第8次兵庫県保健医療計画」が令和6年度に策定された。但馬圏域では、圏域単位では全国で初めての取組として、ロジックモデルを使用し、各項目の進捗状況を随時把握しつつ、目標に向けた取組を実施している。医療機関の機能分化・連携、在宅医療の充実を通じて、地域完結型医療への転換を図るため、効率的かつ質の高い医療提供体制を確保するとともに、医療従事者が定着するための環境づくり、公立病院間の連携強化を進めるための病床機能の再編、病院間の連携体制の構築を図るために、圏域が一体となった取組を進めている。

2 事業内容

但馬圏域の効率的かつ質の高い医療提供体制を確保するため、病院間連携のための協議、医療機関による自主的取組への支援を進めていく。

(1) 但馬圏域健康福祉推進協議会医療部会（地域医療構想調整会議）の開催

内 容：保健医療計画の推進、病床機能の再編、医療連携体制の構築等に関することの協議

構成員：医師会、歯科医師会、看護協会、薬剤師会、公立病院代表、消防本部、住民代表、医療保険者、行政 計21名

(2) 但馬圏域医療機関等連絡会議の開催

内 容：地域医療構想の実現に向けた医療体制、施策に関する協議

構成員：医師会、公立病院組合管理者、病院長・事務長、有床診療所、行政 計27名

3 予算額 111千円



記者発表 (発表・資料配布)				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	豊岡健康福祉事務所 企画課	ダイヤルイン 0796-26-3655	所長 田所 昌也 (副所長兼企画課長 前田 寛)	

社会的処方及び重層的支援体制の整備による 地域共生社会の推進に向けた取組

1 事業の趣旨、目的

支え手受け手という立場を超えて誰もがつながりや生きがいを持てる地域共生社会の実現を目指す。そのために、行政等が制度の縦割りを超えた地域づくりや相談支援を実施する市町の任意事業である重層的支援体制整備事業について理解を深め、薬ではなくつながりを処方する社会的処方の考え方を医療従事者や市町の福祉担当部局が学ぶ機会を作る。そして、行政、事業者、医療機関、市民等による地域づくりを加速化する。

2 事業内容

(1) 医師等の医療機関への働きかけ

- ・研修会等の実施による社会的処方に関する理解の促進

(2) 市町の重層的支援体制整備の実施の推進

- ・各市町の状況を踏まえた研修会等の実施による重層的支援体制整備事業についての理解・取り組みの促進

3 予算額 272千円



記者発表 (発表・資料配布)				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	但馬長寿の郷 地域ケア課	ダイヤルイン 079-662-8456	郷長 大西 利政 (小森 昌彦)	

高齢者のニーズに応じた社会参加の場づくり

1 事業の趣旨、目的

後期高齢期を迎えるフレイル（虚弱）状態になると、活動範囲が狭まり、今までの居場所や役割を失いややすく、主体的に居場所を選択する機会も減少し「自分らしい暮らし」の実現が難しい状況となる。

そこで、地域住民、企業、行政と連携・協力し、高齢になっても活動できる多様な社会参加の場づくりを支援することで、高齢者の健康づくり・介護予防の取り組みを促進する。

2 事業内容

R7 年度に実施したニーズ調査を踏まえ、モデル地区を選定したうえで、実施に向けた検討を行う。元気高齢者を含めた地域住民や企業とも協働しながら高齢者になっても活動できる多様な社会参加の場をモデル的に創設する。

なお、モデル実施の進捗状況について、手法や工夫を横展開できるよう検討会にて課題等を情報共有する。

【社会参加の場 具体例】

実施者	場所	内容
介護保険事業所	施設共用スペース	体操・就労的活動
事業所・者	農地、工場、事業所	就労的活動(軽作業等)
地域・自治協	公民館・自治協事務所	体操・趣味活動
温泉施設	温泉施設	体操等

【全体計画】

R7	R8	R9	R10
実態調査 現状・課題整理 モデル実施検討	モデル地区の選定 モデル実施	モデル実施 課題整理の共有 他地域への展開検討	他地域展開

3 予算額 988千円



記者発表 (発表・資料配布)				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	県民躍動室 地域振興課	ダイヤルイン 0796-26-3674	県民躍動室長 植田 勝明 (和多田 佳史)	

コウノトリも棲める郷づくりの推進

1 事業の趣旨、目的

コウノトリ野生復帰推進計画の基本方針に基づき、コウノトリ野生復帰の推進を図る。

2 事業内容

(1) コウノトリ野生復帰の環境整備

ア コウノトリ野生復帰推進連絡協議会の開催

コウノトリ野生復帰推進計画の推進体制として、関係者連携のもとコウノトリの野生復帰の実現に向け、取り組みの総合調整を行うとともに、事業の円滑な推進を図る。

・構成員 学識者（3名）

関係団体（区長会、農業協同組合、農業委員会、森林組合 等）

行政（国土交通省、県民局、但馬教育事務所、コウノトリの郷公園、市町）

イ コウノトリ営巣用人工巣塔設置への支援

但馬地域における更なるコウノトリの定着を図るため、地域団体が行う人工巣塔設置に係る経費を支援する。

(2) コウノトリ野生復帰PR事業の推進

コウノトリ野生復帰の先進地における成果を広く広報するとともに次世代へ繋いでいくため、YouTubeを通じて地域団体が行う取り組みを発信する。

3 予算額 887千円



記者発表 (発表・資料配布)				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	県民躍動室 環境課	ダイヤルイン 0796-26-3650	県民協働参事 永井 秀明 (藤原 英隆)	

ラムサール条約湿地を活用した環境学習事業

1 事業の趣旨、目的

兵庫県下で唯一ラムサール条約登録湿地となっている円山川下流域の湿地・周辺水田を活用した環境学習事業を行う。

高校生を主な対象として、恵まれた自然の中で、生物調査や保全活動を経験することにより、但馬の豊かで美しい自然環境を次世代に残していくための人材育成につなげる。

2 事業内容

(1) 田結湿地等の調査・保全活動

但馬地域内外の高校生が湿地等の生物調査や外来植物の駆除を行うなど自然保護の活動を通じて、生物多様性に関する分析方法等を学習する。

- ・魚類・昆虫等の生態調査及び水質調査
- ・外来生物（植物）の駆除等の保全活動
- ・但馬管内・管外の高校生間の交流と情報交換

(2) 活動発表会の開催

但馬地域内外の高校生や各種主体が活動報告を行い、高校間の交流・情報交換を図るとともに、湿地の生息環境の維持の重要性について広く意識啓発を図る。

- ・高校生による活動結果の報告、パネルやポスター等の展示
- ・専門家による基調講演、環境保全団体の活動報告

(3) 実施主体

但馬・みらいと環境づくり協議会

【参考】令和7年度の実績

田結湿地等をフィールドとして合計4回開催し、高校生164名の参加により生物調査等を行い、ラムサール条約登録湿地の理解、高校間の交流を深めた。

- ・活動期間：令和7年6月～12月
- ・参加校：香住高校、豊岡総合高校、出石高校、飾磨高校、星陵高校、豊岡高校
近大付属豊岡高校
- ・指導：兵庫県生物学会但馬支部

3 予算額 2,588千円



記者発表（発表・資料配布）				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	県民躍動室 環境課	ダイヤルイン 0796-26-3650	県民協働参事 永井 秀明 (藤原 英隆)	

クリーン但馬10万人大作戦の推進

1 事業の趣旨、目的

但馬地域の環境美化の推進を目的とし、地域団体、住民等が一体となり、不法投棄防止活動の充実を図り、環境美化県民運動を展開する。

この事業は、平成2年度にクリーン但馬5万人大作戦としてスタートし、以後継続して実施され、地域における毎年の恒例行事として認知されている。

ごみを捨てない、捨てさせない心を育むとともに、環境美化の意識を定着させ、不法投棄を許さない地域づくりを推進していく。

2 事業内容

(1) 地域住民と一体となった不法投棄防止対策の推進

毎年6月の第1日曜日を実施基準日と定め、通年で地域団体、住民等による清掃活動に加え、不法投棄の防止を図るため、監視活動を行うことによって、クリーン但馬10万人大作戦事業を展開していく。

(2) 海岸漂着ごみ対策の推進

海岸漂着ごみの発生源の一つである、河川周辺等からのごみ流入の削減を図るとともに、関係機関と連携を取り、海岸・河川での清掃活動の強化や監視活動、普及啓発等を推進する。

3 予算額 858千円



【回収されたごみ】



記者発表 (発表・資料配布)				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	県民躍動室 環境課	ダイヤルイン 0796-26-3650	県民協働参事 永井 秀明 (藤原 英隆)	

但馬の自然環境の保全と復活・再生に向けた支援

1 事業の趣旨、目的

豊かな自然に恵まれた但馬地域においても、とりまく環境の変化により、希少な動植物が危機的な状況に置かれるなど、元来の自然環境が失われつつある。

これら希少動植物の保護は、但馬で暮らす人々の安全安心な生活環境を守るため、重要な取組である。

本事業は、その活動に必要な費用を補助し、但馬の自然環境が次世代へと継承されるよう支援を行うとともに、令和5年度策定の「但馬・みらいと環境づくりの道しるべ」に則り、失われつつある自然環境の再生と啓発に係る事業を実施する。

2 事業内容

(1) 環境保全等の活動への支援

自然環境の保全と復活・再生に向けた活動（希少動植物保護、温暖化対策、漂着ごみ対策、環境学習事業等）を実施する環境保全団体等の取組に対して必要な経費の補助を行う。

(2) 自然環境再生・啓発事業

希少動植物の保護及び地球温暖化防止につながる事業を実施し、但馬地域における自然環境再生・啓発事業を実施する。

(3) 環境フェスティバルの開催

県民に環境への関心をもってもらい、環境保全意識の高揚及び普及啓発を図り、実践活動への参加の契機として、親子等で楽しめる「環境フェスティバル」を開催する。

(4) 実施主体

但馬・みらいと環境づくり協議会

3 予算額 1, 459千円



記者発表 (発表・資料配布)				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	豊岡農林水産振興事務所 森林課 朝来農林振興事務所 森林第2課	ダイヤルイン 0796-26-3698 ダイヤルイン 079-672-6881	所長 松岡 浩司 (上田 敦祐) 所長 竹中 寛 (妻形 淳史)	

野生鳥獣対策の推進

1 事業の趣旨、目的

但馬地域では、野生鳥獣の増加により令和6年度の農林業被害額は、123百万円と依然深刻な状況となっており、また近年は、農林業被害にとどまらず、生態系への影響や人里への出没による人身事故や交通障害の発生など多岐にわたり、社会問題となっている。

このため、市町との連携により、ツキノワグマ出没対策とシカ等の有害鳥獣捕獲強化の取組みにより農林業被害の軽減と人身事故防止等の取組みを推進する。

2 事業内容

(1) ツキノワグマ出没対策

ア 但馬地域クマ対策連絡会議開催

市町と県関係機関による出没及び捕獲情報の共有と被害対策の連携強化を図る。

イ 緊急対応マニュアルの改訂支援

市町による市街地等の出没対応マニュアル改訂や緊急銃猟を想定した実地訓練の実施を支援する。

ウ ヘイキューブ（乾草飼料）の使用による出没抑止【新規】

集落周辺におけるシカ等捕獲わなの誘引餌にヘイキューブを使用すること（米ぬかからの切換え）を促進し、クマの出没を抑止する。



実地訓練の様子



ヘイキューブ

(2) シカ等の有害鳥獣捕獲強化

ア 銃猟捕獲班育成研修会開催【新規】

但馬では特に美方郡においてシカの生息密度指数(SPUE)が4.0を超え、捕獲の強化が求められるが、一方、有害捕獲活動の担い手である猟銃を所持した捕獲班員が減少していることから、銃免許所持者等を対象とした銃猟捕獲班育成研修会を開催する。

イ 広域的カワウ捕獲対策

但馬地域における広域的かつ計画的なカワウ被害対策を実施するため、市町や内水面漁協との連携による広域捕獲の実施と効果検証を行う。

3 予算額 430千円



記者発表 (発表・資料配布)				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	豊岡土木事務所 まちづくり建築課	ダイヤルイン 0796-26-3755	まちづくり参事 木戸政視 (まちづくり建築課長 八幡竜介)	

但馬U・Iターン400人大作戦の展開

1 事業の趣旨、目的

きめ細かい移住相談対応と移住者受け入れ体制の強化、さらに若年世代への働きかけにより移住・定住を促進し、但馬地域へのU・Iターン者数年間400人を目指す。

2 事業内容

- (1) U・Iターン促進拠点「たじま暮らしサポートBASE」の運営
 - ア 専門の移住相談員を配置し住まいや仕事探しのワンストップ相談
 - イ WEBや東京・大阪で開催される移住イベントなど多様なチャンネルを活用した情報発信
 - ウ 移住希望者の要望にきめ細かく対応する「オーダーメイドツアー」の実施
 - エ 但馬地域への移住支援における5市町連携のハブとしての役割
- (2) 人材不足分野へのU・Iターン促進
 - ア 人材不足に悩む地元事業者と連携した「たじま仕事×暮らし体験ツアー」の実施
 - イ 商工観光、農林漁業等多様な分野の機関と連携した移住希望者への情報発信
- (3) 地域を担う若者のUターン促進
 - ア 若者が運営・交流するコミュニケーションメディア「20GRAPHIE」の運営
 - イ 若者とのつながりを深める二十歳の記念無料撮影会の実施
- (4) 移住者が移住者を呼ぶ環境づくり
 - ア 移住者ネットワークの構築と移住後のフォローアップを強化する移住者交流会の実施
 - イ 移住希望者が既移住者に直接会って体験や暮らしが聴ける「先輩移住者マップ」の充実
- (5) 移住者による空き家活用の促進
 - ア 移住希望者への市町空き家バンク物件紹介
 - イ 一般の方への啓発や新たな取組に繋げるための空き家活用に関する事例及び研究に関する講演会の実施
 - ウ 移住・定住に繋がる空き家の活用促進に向けた情報交換会の実施

3 予算額 9,600千円



移住バースト相談ブース



仕事×暮らし体験ツアー 二十歳の記念無料撮影会



記者発表 (発表・資料配布)				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	総務企画室 総務防災課	ダイヤルイン 0796-26-3618	室長 遠池 良逸 (班長(企画防災担当) 日下部 尚裕)	

但馬の若手をつなぐプラットフォーム「TJMつながりLab」の設置

1 事業目的

人口減少、若者流出が深刻な但馬地域において、若手職員が地域の課題や可能性について主体的に議論・研究し、その成果を今後の政策や施策立案に活かすことを目的に、「TJMつながりLab」を設置する。

- ・若者が「地域に関わる意義」や「自分の役割」を再発見し、定着や地域への愛着を形成
- ・行政の枠を超えたネットワークを築き、将来的な協働や広域的な課題解決の土台を構築
- ・人間関係が固定化しやすい地域社会に「出会いと交流の場」の機能を提供
- ・若者が地域課題に向き合い、仲間と議論し行動する経験を積むことで、次世代のリーダーを育成

2 事業内容

TJMつながりLab（たじまつながりラボ）とは
地域や行政の未来を共に考える仲間が集い、学びと提案を通じて未来を共創する実験的な協働の場



但馬管内の兵庫県職員、3市2町の市町職員の若手職員（20～30代）によるネットワークづくりを進め、実務者間の情報共有や交流を促進する。その中で、意欲あるメンバーが主体的に政策提案やプロジェクト立案に取り組み、地域に新しい挑戦を生み出すことを目指す。

◆活動概要

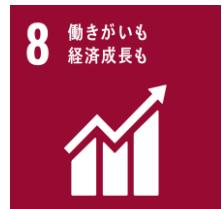
- ・ネットワーク形成：研修等による交流を通じた、顔の見える関係とネットワーク構築
- ・政策提案の推進：メンバーの中から、地域課題解決や地域活性化に向けた政策や具体的な提案を生み出し、実現に向けた協働を推進
- ・段階的な拡大：将来的には民間の若手にも参加を広げ、官民連携を促進
- ・継続的交流：全体交流以外でも、日常的にオンライン・オフライン双方での交流を促進

3 予算額

780千円



12月に実施したトライアルランの様子



記者発表 (発表・資料配布)				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	県民躍動室 県民課	ダイヤルイン 0796-26-3641	県民協働参事 永井 秀明 (敏森 教彰)	

地域活動応援事業の推進

1 事業の趣旨、目的

但馬地域ビジョン2050（令和4年3月策定）がめざす未来の姿「つながる、たからじま～みんなで創る ワクワク但馬～」の実現に向け、地域の活性化に取り組む団体の活動を支援する。

2 事業内容

地域団体が企画・実施する下記事業に必要な経費の一部を補助する。

(1) 対象事業

但馬地域の課題解決や活性化に向けて取り組む事業

ア 豊かな自然や文化などの地域資源の再発見・発展につなげ、次世代に継承する事業

イ イベントなどを通じて他地域との交流促進や協働による地域活性化につながる事業

ウ 地域の住民が身近に芸術文化に触れる機会を提供し、芸術文化の魅力発信や人材の育成を図る事業 など



(2) 補助率等

定額

30万円以内（千円単位）

(3) 募集期間

令和8年3月下旬から令和8年4月上旬

【地域団体によるイベントの様子】

(4) 審査会の開催

(豊岡ロックフェス)

・企画提案会(公開審査) 令和8年5月中旬

・審査委員 学識経験者3名、但馬青少年本部役員1名、
但馬県民局長 計5名

3 予算額 8,606千円



記者発表 (発表・資料配布)				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	県民躍動室 県民課	ダイヤルイン 0796-26-3648	県民協働参事 永井 秀明 (寺田 朋弘)	

地域の見守り力アップ作戦

1 事業の趣旨、目的

青少年の健全育成に向けて県民意識の高揚を図るとともに、青少年のみならず大人の規範意識の醸成と社会環境の浄化を地域ぐるみで図る気運を高めることを目指し、但馬青少年本部をはじめ、警察や学校、地域団体等と連携し、次代を担う但馬の青少年を地域で守り、育て、温かく見守るという意識を持って、青少年の非行化防止や健全育成に取り組む。

青少年や保護者が集まる行事等において、見守り力向上に資する啓発用チラシ、啓発グッズを作成配布する。

2 事業内容

(1) 但馬の青少年を見守る「ひと声運動」の実施

但馬青少年本部の構成団体や市町、警察、PTA役員等と連携し、地域の青少年が集まるエリアを中心にパトロールを実施する。

○青少年への声かけ、店舗での聞き取り並びに啓発チラシを配布

(2) 青少年非行に対する地域の危機意識醸成のためのキャンペーン実施

青少年愛護条例の主旨を周知し、青少年の健全育成の機運を高め、地域の子どもは地域で守るという意識を醸成するため、不特定多数の人が集まる大型イベント等の場で啓発活動を実施する。

○大型イベント等で啓発グッズを配布



【イベントでのグッズ配布】

(3) 適切なインターネット利用への啓発活動

青少年の育成環境において課題となっているインターネット上のトラブルやネット依存から青少年を守るため、家庭での効果的なルールづくりやフィルタリングの活用についての啓発活動に取り組む。

○青少年本部や中学校、各市町が行う行事、研修会等で啓発グッズを配布

3 予算額 337千円



記者発表 (発表・資料配布)				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	総務企画室 総務防災課	ダイヤルイン 0796-26-3618	室長 遠池 良逸 (班長(企画防災担当) 日下部 尚裕)	

県民局広報・広聴の推進

1 事業の趣旨、目的

県の施策、県内の動きなど、県民との情報共有を推進していくため、報道機関等へのパブリシティ活動に一層取り組むとともに、広報誌やSNSを効果的に活用した県政情報を提供する。

2 事業内容

(1) フリーペーパーを活用した但馬地域の情報発信

管内住戸に配布・施設窓口に配架される冊子の紙面購入により、新聞未購読層、ネット未利用層向けに但馬地域の情報を発信する。

(2) SNS（インスタグラム等）を活用した但馬地域の情報発信

フォロワーが一定数いる兵庫県公式アカウントの活用を想定し、ネット利用層向けに但馬地域の情報を発信する。

(3) 県民だよりひょうご（全県版・但馬地域版）による但馬地域の情報発信

(4) デジタルサイネージを利用した動画放映、県政情報の発信

(5) 兵庫県ホームページ（但馬県民局）の公開、編集

(6) はばタン着ぐるみ貸し出し、管理

3 予算額 5, 600千円



デジタルサイネージ放映の様子（豊岡総合庁舎中2階）



記者発表 (発表・資料配布)				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	県民躍動室 県民課	ダイヤルイン 0796-26-3641	県民協働参事 永井 秀明 (敏森 教彰)	

専門職大学等と連携した芸術文化振興の推進

1 事業の趣旨、目的

音楽、演劇、伝統芸能などの芸術文化事業の活動支援や発信を芸術文化観光専門職大学等と連携して行うことにより、芸術の魅力あふれる地域づくりを推進し、交流人口の拡大と地域の活性化を図る。

2 事業内容

(1) 豊岡演劇祭2026への支援

豊岡演劇祭への支援を通じて、但馬全域における芸術文化の魅力向上と振興を図る。

【補助金総額】900万円

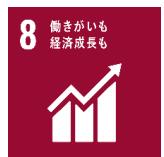
(2) 芸術文化施設・イベント情報発信事業

但馬地域の周遊につながる芸術文化施設やイベント情報等をホームページで発信する。

3 予算額 10, 364千円



【ナイトマーケット】



記者発表（発表・資料配布）				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	豊岡土木事務所 まちづくり建築課	ダイヤルイン 0796-26-3755	まちづくり参事 木戸政視 (まちづくり建築課長 八幡竜介)	

但馬の歴史と物語を生かした新しいまちづくり

1 事業の趣旨、目的

北前船などの海運による商業地として栄え、また、天然温泉が湧出する湯治場として賑わう新温泉町のまち並み・歴史・文化が融合した効果的な謎解きツアーのプログラムを開発する。その開発・運用を通じて、地域の課題解決や活性化につなげるとともに、地域固有の歴史や物語を生かすまちづくりの一つのモデルとする。

2 事業内容

- (1) 謎解きプログラムの開発
 - ア 謎解きシナリオの作成
 - イ WEBサイトの作成
 - ウ 謎解きキットの企画設計（オリジナルチケット、謎解きマップ、ショップ優待券など）
- (2) 謎解きイベントの運営
 - イベントのモデル実施（モデル実施で謎解きキットを無料配布）

3 予算額 5,000千円



【イメージ】



記者発表 (発表・資料配布)				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	豊岡土木事務所 まちづくり建築課	ダイヤルイン 0796-26-3755	まちづくり参事 木戸政視 (まちづくり建築課長 八幡竜介)	

豊岡復興建築群の魅力発信

1 事業の趣旨、目的

旧豊岡市の中心には、1925年の北但大震災で倒壊や焼失し、その後復興した建物が多く残っている。2024年にそれら建築物の一部が復興遺産として県景観条例に基づく景観遺産に登録され、その価値や魅力に注目が集まっており、2025年には北但大震災100年のメモリアルイベントが開催されるなど、多くの人が訪れている。

これからも、但馬の玄関口である豊岡駅前にぎわい再生の取組を継続していくこととし、地域主体の取組に向けての支援を行う。

2 事業内容

(1) 歴史的価値の普及啓発の支援

復興建築群の情報発信のため、デジタルマップを提供する。

(2) 復興建築群を活用した地域活性化への支援

復興建築群を活用した地域主体のまちづくり活動を支援するため、スタンプラリーや謎解きツアーの各種コンテンツを提供する。

3 予算額 550千円



旧豊岡町役場
『豊岡稽古堂』



旧兵庫縣農工銀行豊岡支店
『オーベルジュ豊岡 1925』



豊岡劇場
『豊岡劇場』



あるいてみつける
豊岡復興建築群マップ



謎解きキット



11 住み継がれる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任

記者発表 (発表・資料配布)				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／10 (火)	県民躍動室 県民課	ダイヤルイン 0796-26-3648	県民協働参事 永井秀明 (寺田 朋弘)	

但馬地域ビジョン2050の推進

1 事業の趣旨、目的

令和4年3月に策定された但馬地域ビジョン2050の実現に向け県民主役のビジョンを推進するため、30年後の次世代を担う若者に向けた出前講座等を通じ普及啓発するとともに、地域ビジョンの実現に資する取組を行う団体等、多くの県民が地域の未来を語り合い、考える場づくりを展開する。

2 事業内容

(1) 但馬地域ビジョン2050の普及啓発

但馬地域ビジョンに共感し、ともに行動する主体を増やすため、次世代を担う若者等、地域住民に対する普及啓発を実施する。

ア 出前講座の実施

県立高等学校等への出前講座の実施

イ ホームページによる情報発信・PR

ホームページにより、地域ビジョンの実現に資する取組などの情報発信を推進する。

ウ 広報推進員の設置

主に次代を担う若者に向け、但馬地域ビジョン2050の実現に向けた取組や地域活動などをきめ細かくフォローし、SNS（インスタ、ツイッター等）で発信するために、情報収集する広報推進員を設置する。



【出前講座の様子】

(2) たじま交流フェスタの開催

多くの県民が集い、地域の未来を話し合う機会としてたじま交流フェスタを開催する。

・開催日時 令和9年3月頃

・開催場所 但馬空港多目的ホール

・参加者 50人～80人（地域活動団体、一般県民、地域のキーパーソン、自治体職員、大学生等）

3 予算額 4, 397千円

